

# 令和2年度 学校自己評価システムシート (県立狭山経済高等学校)

w41

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 目指す学校像 | 「進学にも就職にも強い学校」－高度な資格取得は進路実現への架け橋 |
|--------|----------------------------------|

|      |   |
|------|---|
| 重点目標 | 1 学力の向上と、進路指導体制の充実を図り、進路実現を目指す。<br>2 生徒指導と特別活動を充実させ、健全な体と心を育成する。<br>3 中学校・地域・家庭との連携を図り、開かれた学校づくりを目指す。<br>4 安心・安全な学校づくりを目指す。 |
|------|---|

|     |   |             |
|-----|---|-------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成(8割以上)  |
|     | B | 概ね達成(6割以上)  |
|     | C | 変化の兆し(4割以上) |
|     | D | 不十分(4割未満)   |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

|     |          |    |
|-----|----------|----|
| 出席者 | 学校関係者    | 5名 |
|     | 生徒       | 3名 |
|     | 事務局(教職員) | 8名 |

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 |  |  |   |   | 年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )  |     |   |
|-------------|--|--|---|---|--|-----|---|
| 年 度 目 標     |  |  |   |   | 年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )  |     |   |
| 番号          | 現状と課題  | 評価項目   | 具体的方策   | 方策の評価指標   | 評価項目の達成状況  | 達成度 | 次年度への課題と改善策   |
| 1           | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対応に係る授業時数不足を補い、基本的学力を定着させるため、指導方法の工夫・改善を組織的に行う必要がある。<br>自分の将来設計や保護者の意向を踏まえた進路選択ができない生徒も見受けられる。各種入学試験に対応した指導と、「自分の生き方」「社会貢献」を意識した職業選択の指導が必要である。 | 組織的に授業改善の取り組みを実施する。<br>大学入試方法の提供や学校選択のアシスト。<br>企業情報を正確に提示し、その活用や将来設計を踏まえた就職指導。 | ①授業公開や研究授業を継続的に実施する<br>②模擬試験・小論文・模擬面接練習の実施<br>③一般常識・SPI対策テスト・企業紹介ガイダンス等の実施          | ①実力テスト・進路模試等の学力判定において個々の生徒に向上が見られるか。<br>②志望校入学100%<br>③就職内定率100%              | 教務部・進路指導部・3学年による組織的な対応ができた。<br>①授業公開曜日の見直しを図った。教員同士の授業相見回数は増加しており、授業改善に取り組むことができた。<br>②卒業予定者のうち進学者61.6%(大学29.2%・短大9.3%・専門学校23.1%)の志望校入学者は99%であった。<br>③卒業予定者のうち就職者38.4%(民間37.5%・公務員0.9%)の内定率は99%であった。 | B   | 各教科の理解度は、R1年度77.8%から今年度は68.9%に下がっている。学びの基礎診断や模擬テスト等活用し、より一層学力向上の取り組みを推進する必要がある。 |
| 2           | 学校生活における諸場面でそれにふさわしい服装・態度の在り方について継続的に取り組んでいく必要がある。   | 専門高校として基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、社会人として必要なマナーが備わった人物の育成を目指す。                        | ①毎時間の始業時チャイム着席の徹底、身だしなみ指導の継続。<br>②登校・校門指導時の服装指導をはじめ、小さな変化を見逃さず対応する。                 | ①始業時の遅刻回数<br>②全教職員で生徒指導に取り組む意識が高められ、生徒指導案件の減少が見られたか。                          | 卒業後即戦力となる人材としてのマナー・ルールを身につけさせることができた。<br>①始業統一共通理解のもと、昨年度遅刻延べ回数(6月～1月)981回、今年度は714回であり激減した。<br>②定期的な整容指導・登校指導を実施し、生徒指導案件は0件であった。   | A   | 今後もスマホや携帯に係る問題発生が考えられ、改めて使用規程・指導方針等を見直していく必要がある。                                |
| 3           | 入学者選抜において定員を超える志願者を得ることができなかった。中学生やその保護者に向けて専門高校を理解するための有効的な情報発信を続ける必要がある。   | 中学校との連携の大切さを認識し、企画委員会や中高連絡委員会と連携しながら効果的な広報活動の実施に努める。                           | ①中学校進路担当者へのアンケート回答を精査し、学校説明会・中学校訪問・体験入学・出前授業等を効率的に実施する。<br>②魅力ある学校案内・HPを作成する。       | ①入学者選抜において募集定員を満たしたか。<br>①説明会等の参加者アンケート結果と受検率の推移<br>②学校案内の見直し、HP更新が50回以上できたか。 | 学校説明会の改善やHP更新により積極的に情報発信ができた。<br>①出前授業を除き、概ね例年通りの説明会は実施できた。中高連絡委員会を中心に近隣中学校訪問も実施した。<br>②学校案内は刷新することができた。次年度も継続して見直しを進める。HP更新は日誌だけでも50回以上発信している。  | B   | 中学校の教員・中学生その保護者向けに学科紹介動画を作成したが、活用することができなかった。継続的に学校の特色等の発信方法を模索する必要がある。         |
| 4           | 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る臨時休業長期化に伴い、今後もSNS等に関連した問題発生が考えられる。規定・指導方針の在り方について検討していく必要がある。<br>いじめ防止に向け生徒の意識を向上させる必要がある。  | いじめを早期に見るため、多くの目で生徒の様子を観察し、アンケートを活用し保護者と情報の共有に努める。                             | ①学年・分掌との連携を深め、学年集会・全校集会等を通じ、いじめる生徒もいじめられる生徒も生まないように取り組む。<br>②盗難被害を防止するため自己管理の徹底を図る。 | ①いじめ防止対策委員会を活用し、警察や諸機関との連携強化が図られたか。<br>②生徒指導部と学年で連携して対応し、盗難件数減少が見られたか。        | 関係機関と連携を深め随時注意喚起し、いじめ防止効果が表れた。<br>①生徒指導部・教育相談委員会・SCの連携により、安心して生活できる環境を整えられた。<br>②感染症対策の一環で随時実施できない環境の中で、学年団中心に校舎内巡回を実施し、盗難は1件であった。   | A   | 感染症拡大に伴い、全国的に高校生の自殺増加がある。本校も他人事とせず、全教職員共通理解を深め自殺防止に努める必要がある。                    |

| 学 校 関 係 者 評 価   |           |
|---|-----------|
| 実施日   | 令和3年2月19日 |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等   |           |
| <p>税理士試験合格は素晴らしい。アナログ(対面)とデジタル(オンライン)の有効活用をさらに工夫してほしい。<br/>生徒の進路先確保に取り組んでほしい。</p> <p>スマホ等については規制の強化ではなく、自主性を尊んだ見直しも必要ではないかと思われる。<br/>地域社会と連携したボランティア活動や社会見学など身近な地域社会との積極的な関わりを展開してほしい。<br/>目標に向かって勉学に取り組む良い校風を維持向上させてほしい。</p> <p>学科紹介動画は常にバージョンアップをお願いしたい。HPの活用や中学校訪問等、本校の良さをアピールし、3年間で確実に育成し、将来の夢を実現する学校を目指してほしい。<br/>本校の卒業生は即戦力として活躍している。中学生や保護者にもアピールになるので伝える工夫をお願いしたい。</p> <p>コロナ禍において、いじめ・自殺などの増加が懸念される。人権教育を充実させ、教職員の共通理解を深めるとともに生徒同士の理解や親睦を深める工夫をお願いしたい。</p> |           |